

# 2022年度 JMO 事業報告

公益財団法人 数学オリンピック財団

## < 1 > 国内大会の取り組み

### 1. JMO 予選の実施

#### (1) 予選の実施方法と結果

・応募受付期間：9月1日～10月31日

・試験：2023年1月9日(成人の日)に、全国72会場で実施した。

応募者数は4,980名(昨年より291名増)で、当日は4,489名の生徒が参加し、13時から16時の3時間で12問の問題に挑戦した。

・結果：受験者のうち、予選免除者2名を含む149名がJMO本選に進む予定となった。そのうち、中学生は14名、小学生は1名。

#### (2) 参加者4,489名の在籍校種・学年の内訳

学校：高校720校、中学校77校、小学校2校

学年：高校3年31名、高校2年2,370名、高校1年1,931名 (高校生計4,332名)

中学3年108名、中学2年29名、中学1年13名 (中学生計150名)

小学生2名、その他5名 <男3,748名、女741名>

#### (3) 地区表彰の実施

16地区で、本選受験有資格者と合わせて応募者の1割程度を表彰した。地区表彰受賞者には賞状を学校長宛に送り、全校集会等で表彰していただくように依頼した。なお、地区表彰者は368名であった。

#### (4) その他

8月には、募集要項と財団通信を全国の過去3年間応募があった高等学校・中等教育学校に、募集要項を前年度の個人申込者に送付した。10月には応募者全員と一括申込があった学校に、財団通信と高校生用教材「math OLYMPIAN」を送付した。

### 2. JJMO 予選の実施

#### (1) 予選の実施方法と結果

・応募受付期間：9月1日～10月31日

・試験：2023年1月9日(成人の日)に、オンラインにて実施した。

応募者数は2,694名(昨年より144名増)で、当日は2,521名の生徒が参加し、13時から16時の3時間で12問の問題に挑戦した。

・結果：受験者のうち、129名がJJMO本選に進む予定となった。なお、小学生は2名であった。

#### (2) 参加者2,521名の在籍校種・学年の内訳

学校：中学校381校、小学校17校

学年：中学3年1,032名、中学2年852名、中学1年620名 (中学生計2,504名)

小学生17名 <男2,012名、女509名>

### (3) 地区表彰の実施

15 地区（JMO は 16 地区）で、本選受験有資格者と合わせて応募者の 1 割程度を表彰した。地区表彰受賞者には賞状を学校長宛に送り、全校集会等で表彰していただくように依頼した。なお、地区表彰者は 303 名であった。

### (4) その他

8 月には、募集要項と財団通信を全国の過去 3 年間応募があった中学校に、募集要項を前年度の個人申込者に送付した。10 月には応募者全員と一括申込があった学校に、財団通信と中学生用教材「JUNIOR math OLYMPIAN」を送付した。

## 3. JMO 本選の実施

### (1) 本選の実施方法と結果 ( ) は女子の人数で内数

2023 年 2 月 11 日（建国記念の日）に、全国 12 会場（札幌、青森、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、岡山、広島、愛媛、高知、福岡）で実施した。当日は、本選受験有資格者 149 名（予選免除者 2 名）のうち、148 名が参加し、13 時から 17 時の 4 時間で 5 問の問題に挑戦した。

本選合格者は、21(1)名で、このうち高校 3 年生以上を除く 20 名が代表選考合宿の参加予定者となった。

### (2) 本選参加生徒の学年別人数 ( ) は女子の人数で内数

高校 3 年 3(0)名、高校 2 年 92(5)名、高校 1 年 35(1)名、その他 3(0)

中学 3 年 13(0)名、中学 2 年 1(0)名、中学 1 年 0(0)名、小学生 1(0)名

## 4. JJMO 本選の実施

### (1) 本選の実施方法と結果 ( ) は女子の人数で内数

2023 年 2 月 11 日（建国記念の日）に、全国 10 会場（札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、岡山、広島、愛媛、高知、福岡）で実施した。当日は、予選合格者 129 名のうち 125 名が参加し、13 時から 17 時の 4 時間で 5 問の問題に挑戦した。

本選合格者は、10 (0) 名で、このうち上位 5(0)名が代表選考合宿の参加予定者となった。

### (2) 本選参加生徒の学年別人数 ( ) は女子の人数で内数

中学 3 年 66(2)名、中学 2 年 41(3)名、中学 1 年 17(0)名、小学生 1(0) 名

## 5. EGMO2023 スロベニア大会に向けた国内選抜

### (1) EGMO 一次選抜実施方法と結果

・応募受付期間：9 月 1 日～9 月 30 日

・試験：11 月 20 日（日）に、全国 5 会場（札幌、青森、東京、大阪、福岡）で実施した。応募者 96 名中、87 名が参加し、13 時～17 時の 4 時間で 5 問の問題に挑戦した。

・結果：受験者のうち 10 名が合格となり、2023 年 1 月 9 日に実施する JMO の予選の結果と合わせて、日本代表選手を選抜することになった。

## (2) JMO 予選における結果と EGMO 日本代表の選抜

当日は、合格者 10 名全員が JMO 予選に参加した。

JMO 予選結果と EGMO 一次選抜の結果を基に、EGMO2023 スロベニア大会の日本代表 4 名を選抜した。

## < 2 > 国際大会への取組と結果

### 1. 第 62 回 IMO2022 ノルウェー大会関係

#### (1) 事前指導

IMO 日本代表選手 6 名（高校 3 年 5 名、高校 2 年 1 名）に対して、4 月から 6 月の間に 4 回の通信添削指導を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で直前学習会は実施しなかった。

①実施体制：理事長の指揮のもとに、JCIMO 委員会指名チューターが中心となって、出題者、添削者等を決定した。

#### ② 取組内容

・強化合宿を 5 月 3 日～5 日、国立オリンピック記念青少年総合センターで実施した。

・通信教育については、9 名のチューターが、問題の作成・添削等を行い、指導に当たった。

#### (2) IMO2022 ノルウェー大会（7/6～7/16）の結果

役員 6 名、選手 6 名（高校 3 年 5 名、高校 2 年 1 名：全員男子）が参加し、金メダル 1、銀メダル 4、銅メダル 1 を獲得した。

なお、大会全体のメダル受賞者数は 285 名で、金メダルが 44 名、銀メダルが 101 名、銅メダルが 140 名であった。

国別成績では、日本は 104 ヶ国・地域中、第 8 位であった。

### 2. 第 11 回 EGMO2022 ハンガリー大会関係

役員 3 名、選手 4 名（高校 3 年：3 名、高校 2 年：1 名）がオンラインで参加し、金メダル 1、銅メダル 1 を獲得した。

なお、大会全体のメダル受賞者は 164 名で、金メダル 23、銀メダル 32、銅メダル 62、優秀賞 47 であった。国別成績では、日本は 56 ヶ国・地域中、第 21 位であった。

### 3. 第 12 回 EGMO2023 スロベニア大会日本代表選手に対する事前指導

2023 年 2 月と 3 月に通信添削指導を行った。加えて、3 月 19 日（日）から 3 月 21 日（火）にホテルコンチネンタル府中において、強化合宿を行った。

（参考）第 12 回 EGMO2023 スロベニア大会は、2023 年 4 月 13 日～4 月 19 日に現地へ参加

### 4. APMO（第 35 回 APMO 第 19 回国内大会）関係

第 35 回 APMO は、2023 年 3 月、太平洋を挟んで西側各国は 3 月 14 日（第 2 火曜日）、東側の各国はその前日に、同時にコンテストを 4 時間で実施した。日本では、代表選考を兼ねる第 19 回 APMO 国内大会を 3 月 14 日に東京、大阪の 2 会場で実施し、JMO・JJMO 本選合格者で、JMO については高校 3 年生を除く受賞者、JJMO については代表選考合宿参加有資格者、合わせて 23 名が参加した。その結果、上位 10 名が第 35 回 APMO の代表者に選抜された。第 35 回 APMO の結果は、5 月末から 6 月初旬頃に確定する予定である。

### < 3 > 研究・育成事業、その他

#### 1. 夏季セミナー

2022年度は3年ぶりに、山梨県・清里高原（ヴィラ千ヶ滝）で、生徒22名、チューター20名で実施した。

#### 2. 問題調整会議の実施

問題調整会議を、9月～11月の毎週末に13回実施した。

#### 3. 代表選考合宿、及び表彰式

2023年3月19日（日）～23日（木）にホテルコンチネンタル府中で実施した。

##### (1) 合宿参加生徒：22名（男子21名、女子1名）

構成：高校2年9名、高校1年4名、中学3年6名、中学2年2名、中学1年1名

##### (2) 実施体制

JCIMO 委員長の指揮の下、チューター16名が監督指導にあたった。

##### (3) 実施内容

IMO コンテスト本番と同じ形式の試験4回（各回4時間半・3問の記述式問題）を実施した。

##### (4) 表彰式

JMO の表彰式は、2023年3月19日（日）にホテルコンチネンタル府中で実施した。新型コロナウイルス感染対策のため代表選考合宿参加者と財団関係者のみで、代表選考合宿初日の3月19日に開校式と合わせて実施した。JMO の優勝者、金賞、銀賞、銅賞の受賞者には、藤田理事長から賞状を、IMO メダリストからメダルを授与した。他の成績優秀者には、藤田理事長から賞状を、IMO メダリストから楯を授与した。合宿に参加していない受賞者については自宅へ送付した。

JJMO の表彰式は、金賞、銀賞の受賞者には、藤田理事長から賞状を、IMO メダリストからメダルを授与した。銅賞受賞者は合宿に参加していないため、賞状とメダルを自宅へ送付した。

#### 4. 機関誌・新教材の発行

##### (1) 財団通信：No.63 (5/15)、No.64 (11/15)

No.63 では国内大会並びに EGMO の結果を、No.64 では国際大会の結果を中心にそれぞれ27,500部、25,000部を作成し、8月に過去3年間応募のあったJMO参加校988校、JJMO参加校（中学校）541校に送付した。更に、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の一斉発送により、9月に全国の高等学校1,059校、中学校488校、中等教育学校36校、教育委員会関係210ヶ所、等に配布してPRに務めた。

##### (2) 先進的科学技術学習用カリキュラム新教材の発行（年1回発行）

① JMO 用教材「math OLYMPIAN」 No.70 (10月) 5,500部

② JJMO 用教材「JUNIOR math OLYMPIAN」 No. 45 (10月) 3,300部  
を発行し応募者全員に配布した。

## 5. 役員会等の実施

### (1) 理事会・評議員会

- ① 2022年5月15日（日）Zoomを利用した第1回理事会：10時30分～13時00分  
＜内容＞ 2021年度事業報告、収支決算報告、国際大会の結果等
- ② 2022年6月5日（日）Zoomを利用した定時評議員会：13時30分～14時45分  
＜内容＞ 2021年度事業報告・収支決算報告、国際大会の結果、IMO2023日本大会実行委員会報告、  
新理事の承認、理事長の承認、定款の改定
- ③ 2022年6月5日（日）Zoomを利用した第2回理事会：15時30分～16時40分  
＜内容＞ 新理事長、新専務理事、新常務理事の選出、IMO2023国際大会積立資産
- ④ 2023年3月5日（日）Zoomを利用した第3回理事会：13時30分～15時40分  
＜内容＞ JMO各種行事の結果、2023年度事業計画・収支予算、2023IMO日本大会予算、JCIMO委員の選出
- ⑤ 2023年3月5日（日）Zoomを利用した臨時評議員会：15時40分～16時50分  
＜内容＞ JMO各種行事の結果、2023年度事業計画・収支予算、2023IMO日本大会予算

### (2) JCIMO

- ① 2022年4月2日（日）Zoomを利用した第1回JCIMO：13時30分～14時40分  
＜内容＞ IMOノルウェー大会日本代表選手・代表団の決定、チューター決定等
- ② 2023年1月22日（日）Zoomを利用した第2回JCIMO：13時30分～15時00分  
＜内容＞ EGMOスロベニア大会日本代表選手・代表団の決定、JMO・JJMO予選、本選およびEGMOの一次選抜試験の日程見直しの検討など

## 6. その他

### (1) ポスター（2023年用）の作成

JMO用：A3版12,400部、A4版9,500部

JJMO用：A3版600部、A4版16,000部

### (2) パンフレットの作成

2023年版を、PR用として200部を発注した。（納品は、2023年4月15日）